

第3章 人口の社会的属性

1 配偶関係

男性に比べ死別者及び離別者の割合が高い女性人口

15歳以上人口を配偶関係別にみると、有配偶者は男性が1,213,968人、女性は1,218,962人で、15歳以上人口に占める有配偶者の割合（有配偶率）は、それぞれ60.6%、53.9%となっている。

未婚者は男性が643,850人、女性が584,302人で、未婚者の割合（未婚率）は男性が32.2%、女性が25.8%となっている。

死別者は男性が51,467人、女性が304,504人で、死別者の割合（死別率）は男性が2.6%、女性が13.5%となっており、夫婦の年齢差、女性の寿命が一般的に男性より長いことなどによるものと考えられる。

離別者は男性が64,790人、女性が126,995人で、離別者の割合（離別率）は男性が3.2%、女性が5.6%となっている。

表25 配偶関係別15歳以上人口及び割合
(平成7年・12年)

	未婚		有配偶		死別		離別	
	平成12年	平成7年	平成12年	平成7年	平成12年	平成7年	平成12年	平成7年
人口(人)								
男	643,850	616,795	1,213,968	1,201,193	51,467	47,966	64,790	52,227
女	584,302	555,244	1,218,962	1,206,354	304,504	294,076	126,995	105,847
割合(%)								
男	32.2	31.9	60.6	62.0	2.6	2.5	3.2	2.7
女	25.8	25.5	53.9	55.5	13.5	13.5	5.6	4.9

有配偶率は平成7年に比べ男女とも低下

有配偶率を年齢階級別にみると、男性は20～24歳では7.0%と低いが、25～29歳では31.0%、30～34歳では56.1%と上昇し、50歳から79歳にかけては80%台を示し、80歳以上になると次第に低下している。一方、女性は20～24歳が10.3%、25～29歳が40.1%、30～34歳が64.5%と上昇し、男性よりも若い45～49歳で最高の79.1%に達し、80歳以上は次第に低下している。

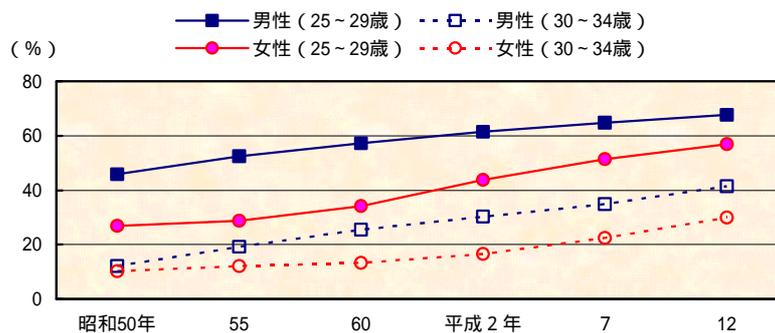
平成7年（男性62.0%、女性55.5%）と比べると、男性は1.4ポイント、女性は1.6ポイント低下している。年齢階級別にみると男性は25～84歳、女性は20～54歳までの各年齢階級で低下しており、特に30～34歳では、男性は6.0ポイント、女性は7.8ポイント低下している。

未婚率は平成7年に比べ男女とも上昇

未婚率を年齢階級別にみると、男性は20～24歳が92.7%、25～29歳が67.7%、30～34歳が41.4%、35～39歳が23.4%となっている。一方、女性は20～24歳が88.7%、25～29歳が56.9%、30～34歳が29.9%、35～39歳が15.8%となっており、30～34歳の男性の4割、女性の3割が未婚者となっている。

平成7年（男性31.9%、女性25.5%）と比べると、男女とも0.3ポイント上昇しており、特に30～34歳の未婚率の上昇が大きく、男性は6.5ポイント、女性は7.4ポイント上昇している。

図6 25～34歳（5歳階級）の男女別未婚率の推移
（昭和50年～平成12年）



離別率は男女とも上昇、男性は死別率も上昇

死別率を年齢階級別にみると、すべての年齢階級において女性の方が男性より高くなっており、年齢が高くなるに従ってその差は拡大している。

平成7年（男性2.5%、女性13.5%）と比べると、男性は0.1ポイント上昇している。

離別率を年齢階級別にみると、男女とも50～54歳の離別率が高くなっており、男性は6.1%、女性は9.7%となっている。

平成7年（男性2.7%、女性4.9%）と比べると、男性は0.5ポイント、女性は0.7ポイント上昇している。

表26 15歳以上男性の配偶関係、年齢（5歳階級）別割合
（平成7年・12年）

年 齢	未婚率 (%)		有配偶率 (%)		死別率 (%)		離別率 (%)	
	平成 12年	平成 7年	平成 12年	平成 7年	平成 12年	平成 7年	平成 12年	平成 7年
総 数	32.2	31.9	60.6	62.0	2.6	2.5	3.2	2.7
15～19歳	99.4	98.9	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	92.7	92.2	7.0	6.6	0.0	0.0	0.3	0.2
25～29歳	67.7	64.8	31.0	33.2	0.0	0.0	1.3	0.9
30～34歳	41.4	34.9	56.1	62.1	0.1	0.1	2.4	2.1
35～39歳	23.4	20.3	70.3	75.9	0.2	0.2	3.6	3.0
40～44歳	16.3	14.4	77.1	80.5	0.3	0.4	4.3	3.9
45～49歳	12.8	9.5	79.3	83.8	0.7	0.8	5.2	4.9
50～54歳	8.6	5.3	82.1	87.2	1.2	1.4	6.1	4.9
55～59歳	4.8	3.7	85.7	88.3	2.0	2.3	5.5	4.6
60～64歳	3.2	2.7	86.5	88.5	3.4	3.7	4.9	3.9
65～69歳	2.3	1.8	86.2	88.1	5.5	6.0	3.9	3.0
70～74歳	1.5	1.3	84.9	86.8	8.6	9.3	2.9	2.3
75～79歳	1.1	0.9	81.4	83.0	12.8	13.9	2.0	1.9
80～84歳	0.8	0.8	75.5	76.0	19.1	21.4	1.6	1.4
85歳以上	0.8	0.8	60.7	58.1	34.2	39.3	1.2	1.1

表27 15歳以上女性の配偶関係、年齢（5歳階級）別割合
（平成7年・12年）

年 齢	未婚率 (%)		有配偶率 (%)		死別率 (%)		離別率 (%)	
	平成 12年	平成 7年	平成 12年	平成 7年	平成 12年	平成 7年	平成 12年	平成 7年
総 数	25.8	25.5	53.9	55.5	13.5	13.5	5.6	4.9
15～19歳	99.0	98.6	0.9	0.7	0.0	0.0	0.1	0.0
20～24歳	88.7	87.0	10.3	11.7	0.0	0.0	0.9	0.6
25～29歳	56.9	51.4	40.1	45.6	0.1	0.1	2.8	2.3
30～34歳	29.9	22.5	64.5	72.3	0.3	0.3	5.2	4.4
35～39歳	15.8	12.1	75.2	80.9	0.6	0.7	7.2	6.0
40～44歳	10.3	8.7	79.0	81.8	1.2	1.5	8.3	7.6
45～49歳	8.0	7.5	79.1	80.4	2.4	2.9	9.3	8.7
50～54歳	6.9	5.9	77.5	79.6	4.5	6.0	9.7	7.9
55～59歳	5.5	5.2	76.0	76.0	8.8	11.2	8.4	6.9
60～64歳	4.8	4.7	71.2	70.1	15.7	18.4	6.8	6.0
65～69歳	4.5	4.6	63.0	61.5	24.9	27.5	5.9	5.6
70～74歳	4.3	3.3	52.2	47.8	36.3	43.6	5.4	4.6
75～79歳	3.2	2.3	36.0	31.4	54.0	62.1	4.4	3.4
80～84歳	2.2	1.6	20.1	17.5	71.4	77.3	3.2	2.4
85歳以上	1.5	1.3	7.3	6.4	85.1	89.0	2.0	1.9

図7 男性の年齢（5歳階級）、配偶関係別割合
（平成7年・12年）

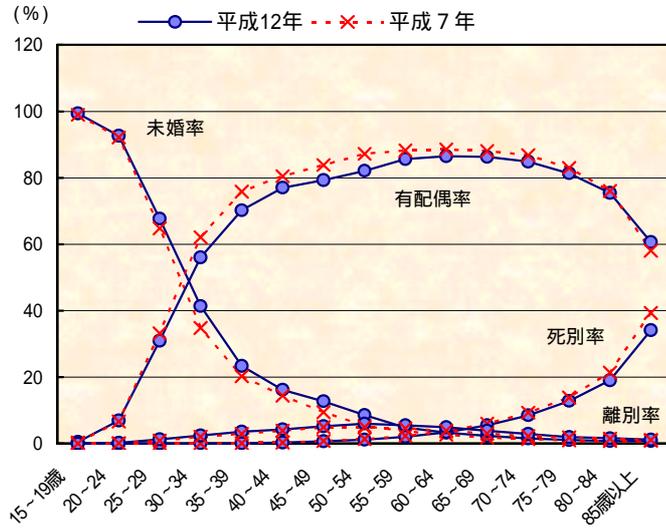
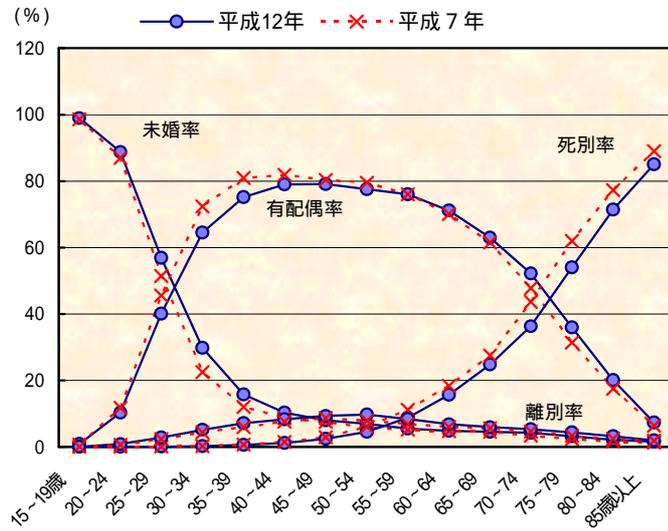


図8 女性の年齢（5歳階級）、配偶関係別割合
（平成7年・12年）



2 国籍

(1) 本県の外国人

本県の外国人は30,702人、この5年間に939人（3.2%）増加

本県に常住する外国人は30,702人（男性14,281人、女性16,421人）で、本県総人口の0.61%を占め、平成7年に比べ939人（3.2%）増加している。

外国人人口を国籍別にみると、韓国・朝鮮が18,254人（外国人人口の59.5%）、中国が6,351人（同20.7%）、東南アジア・南アジアが2,809人（同9.1%）、アメリカが833人（同2.7%）となっている。

表28 外国人人口、人口性比、割合及び増減の推移
（昭和50年～平成12年）

年次	総人口 (人)	外国人人口 (人)			外国人の 人口性比	総人口に 占める割合 (%)	5年間の 外国人人口増減	
		総数	男	女			増減数 (人)	増減率 (%)
昭和50年	4,292,963	24,282	12,760	11,522	110.7	0.57	1,141	4.9
55	4,553,461	25,556	13,243	12,313	107.6	0.56	1,274	5.2
60	4,719,259	25,718	13,041	12,677	102.9	0.54	162	0.6
平成2年	4,811,050	26,635	13,204	13,431	98.3	0.55	917	3.6
7	4,933,393	29,763	14,519	15,244	95.2	0.60	3,128	11.7
12	5,015,699	30,702	14,281	16,421	87.0	0.61	939	3.2

図9 国籍別外国人人口の推移
（平成2年～12年）

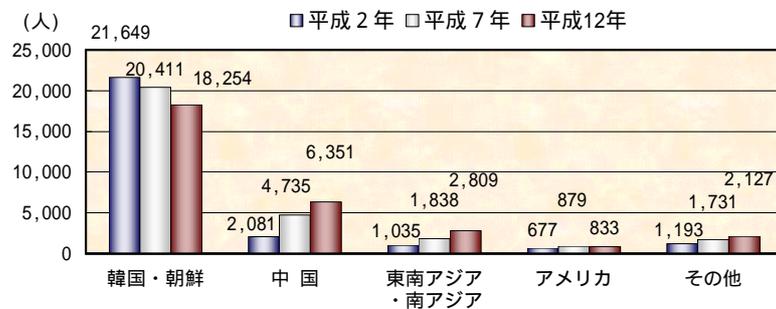
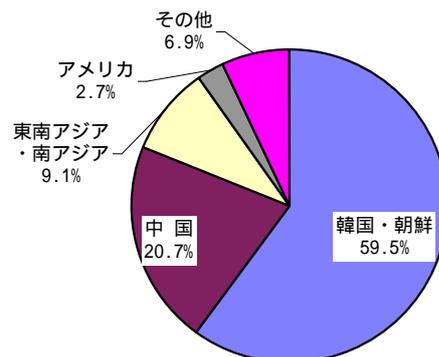


図10 国籍別外国人人口割合
（平成12年）



(2) 市町村の外国人人口

福岡市に住む外国人は11,596人、外国人人口の37.77%

外国人人口を市町村別にみると、福岡市の11,596人(外国人人口の37.77%)が最も多く、以下、北九州市が8,551人(同27.85%)、久留米市が1,102人(同3.59%)、飯塚市が718人(同2.34%)、苅田町が522人(同1.70%)と続いている。

市町村別人口に占める外国人人口割合をみると、水巻町が1.65%(521人)で最も高く、以下、苅田町が1.47%(522人)、庄内町が1.25%(139人)、小竹町が1.14%(111人)、鞍手町が1.13%(218人)と続いており、これら5町が1%を超えている。

表29 市町村別外国人人口
(平成12年)

(多い市町村)

(少ない市町村)

順位	市町村	外国人人口 (人)	外国人人口 に占める割合 (%)	順位	市町村	外国人人口 (人)	外国人人口 に占める割合 (%)
1	福岡市	11,596	37.77	1	大島村	-	-
2	北九州市	8,551	27.85	1	星野村	-	-
3	久留米市	1,102	3.59	3	小石原村	1	0.00
4	飯塚市	718	2.34	4	矢部村	2	0.01
5	苅田町	522	1.70	4	山川町	2	0.01
6	水巻町	521	1.70	6	宝珠山村	4	0.01
7	田川市	353	1.15	6	赤村	4	0.01
8	大牟田市	346	1.13	8	大木町	6	0.02
9	宗像市	331	1.08	8	新吉富村	6	0.02
10	大野城市	323	1.05	10	大任町	7	0.02

表30 市町村別外国人人口割合
(平成12年)

(高い市町村)

(低い市町村)

順位	市町村	外国人 人口割合 (%)	外国人人口 (人)	順位	市町村	外国人 人口割合 (%)	外国人人口 (人)
1	水巻町	1.65	521	1	大島村	-	-
2	苅田町	1.47	522	1	星野村	-	-
3	庄内町	1.25	139	3	瀬高町	0.03	8
4	小竹町	1.14	111	4	山川町	0.04	2
5	鞍手町	1.13	218	5	大木町	0.04	6
6	稲築町	0.96	190	6	三橋町	0.06	11
7	飯塚市	0.89	718	7	高田町	0.07	11
8	福岡市	0.86	11,596	8	北野町	0.07	13
9	北九州市	0.85	8,551	9	小石原村	0.08	1
10	穂波町	0.83	220	10	朝倉町	0.09	9